

令和6年度 鼓ヶ浦中学校区合同学校運営協議会 実施報告書
(兼 第3回 鼓ヶ浦小学校 学校運営協議会)

1 日 時 令和6年11月7日(木) 15:30～17:00

2 場 所 鼓ヶ浦中学校 体育館

3 あいさつ(鼓ヶ浦小学校 学校運営協議会 委員長)

小学校で、いつも朝の登校の様子を見ていた子どもたちが、中学校で勉強している様子を見ることができた。中学校になると英語や数学など、小学校と比べると学習内容もずいぶん難しくなると感じた。小学校も、中学校も、授業の中で地域に興味をもってくれるような学習があれば、私たち地域と子どもたちがもっと近づくと
思う。

また、小学校から中学校、高校、そして大人になっていく子どもたちを見守り、
育てていくためには、学校と家庭だけでなく、地域の協力が必要だと考える。

4 協議内容

(1) 動画視聴

テーマ：SNSトラブルの対応や情報モラル等について、学校・家庭・地域が
できること

- ① はじめが大切
- ② 知らなかったではすまされない
- ③ 家庭のルール

(2) グループ討議および還流

① グループ1で話し合われた内容等

- ・動画のと通りの現状であり、子どもが利用するにあたりルールは決めているものの、きちんと守られていないところもある。
- ・スマートフォン(以下、「スマホ」)所持の低年齢化が進んでいる。小学生でもYouTubeなどの動画を見ている。親は、子どもがどのような動画を見ているのか知って言えるのか。親としてきちんと把握しておいた方がよい。
- ・情報があふれているため、扱いに注意が必要である。また、SNSやオンラインゲームなど、不特定多数の人とつながることが心配である。
- ・SNSは便利であるが、使い方を間違えるとトラブルになったり、事件に巻き込まれたりする危険性がある。そうならないようにするために、子どもの行動に大人がもっと気をつけていかないといけない。

② グループ2で話し合われた内容等

- ・スマホやゲームの家庭での約束はどうなっているのか。
- ・スマホを子どもに与えると、依存症になってしまわないか心配である。動画などから、使ってほしくない言葉遣いをするようになった。しかし、子どもにはその自覚がない。
- ・地域というよりも、家庭や学校での指導が大切である。
- ・買い与えた親の方がSNSやオンラインゲームに疎い状況もある。

- ・ SNS トラブルなどを親に言えない状況あるいは環境になっていないか。
- ・ あらためて「会話」の必要性、重要性を感じる。

③ グール 3 で話し合われた内容等

- ・ 子どもが困ったときに相談できるような親子関係や家庭環境をつくっておくことが必要である。
- ・ 心が安定していないと、危険なサイト等へアクセスしてしまうこともあるのではないかな。
- ・ SNS によるトラブルや事件等、親子で共有して、危険の回避が必要である。
- ・ 中学校では、学期に 1 回、学習の機会を設けている。また、生徒が自分でメディアの使用時間やバランスについて知るような指導も行っている
- ・ 家庭では、親自身も学習が必要である。また、親子関係を築く必要がある。
- ・ 地域としては、スマホの勉強会（子どものスマホについて）を開催するなど是可以するのではないかな。

④ グール 4 で話し合われた内容等

- ・ 子どもたちは、友だちとの関係性からやめられない。大人も同じであり、子どもだとなおさら判断できないのではないかな。
- ・ 子どもたちが外で遊んでいる姿をあまり見かけなくなった。
- ・ 親子でのルールづくり（話し合いの場）はできているのか。きちんと話し合えて、ルールづくりができる。そのための親子の関係づくりが大切である。
- ・ 地域で、プロの方を講師に招いて、スマホ等の使い方の講習会を行う。子どもたちを呼んで、実態を聞く場を設けてもよい。
- ・ 小学校でも情報モラルの学習をしてほしい。そのためのカリキュラムづくりが必要ではないかな。

4 鈴鹿市教育委員会事務局 教育支援課より（加藤稔明さん）

校区合同学校運営協議会前の授業参観は、小学校で関わった子どもたちが中学校で勉強している姿を見てもらういい機会であった。

今回は SNS トラブルについて、学校や家庭、地域で何ができるのかを考えたことは大事なことである。それぞれの立場で主体的に地域の子どもたちの成長を支えていく、そんな学校づくり、地域コミュニティづくりを進めていくことが、鈴鹿市が目指す「協働型」のコミュニティ・スクールである。

また、小学校の子どもたちは、一日をどのように過ごしているのか、とくに学童のない子たちは家に帰っても、親が共働きの場合、一人で過ごす時間が長くなる。下校後、親が帰ってくるまでスマホやゲームをしていることになる。そのような状況も踏まえ、学校・家庭・地域がそれぞれの立場で、子どもたちの健全な育成に努めてもらいたい。

5 校長代表あいさつ（鼓ヶ浦小学校 校長）

鼓ヶ浦中学校校区は、地域の方々に支えられて、それぞれの学校での教育活動を行うことができている。このことは、とてもありがたいことである。

今回の校区合同学校運営協議会のテーマについては、とても難しい課題であったが、どのグループも大変熱心な議論をしていただいた。あらためて、地域のみなさんで校区の子どもたちを育てていただいているということを実感した。今後も、鼓ヶ浦中学校区として、さらに学校と家庭、地域が連携・協働して取り組んでいきたい。